

保存版  
鈴木尚広三三写真集  
20年の軌跡

# Monthly Giants

月刊ジャイアンツ

1  
2017

去る人 来る人  
歴史は続く

惜別大特集

## 鈴木尚広

完全チェック  
ドラフト指名選手

1位 吉川尚輝 ほか

G Research

「サンタさんをお願い！」

坂本勇人 亀井善行  
山口鉄也 阿部慎之助  
高橋由伸 監督ほか

対談 決意の2年目へ  
山本泰寛×重信慎之介

特別定価 600円  
報知新聞社

全日本中学野球選手権

連載  
49

# ジャイアンツカップへの道

目指すぞ！ 中学硬式野球「日本一」頑張れ！ 未来のG戦士

プロ野球をはじめ社会人、大学、高校野球の秋のイベントは終了しました。中学野球も地区大会はほぼ終了し、多くのチームは来年夏の「ジャイアンツカップ」出場を目指して練習に励んでいます。このコーナーでは中学硬式野球「日本一」を目指す全国のボーイズリーグに所属するチーム・選手を紹介。熱いエールを送ります。

長野県で圧倒的な強さ！ 狙うぞ Gカップ出場！

ボーイズリーグ所属  
長野県千曲市



## 千曲ボーイズ



昨秋から「1番」を背負う梅野。10月の県支部予選では打撃でも大活躍

2年連続2度目の春季全国大会出場に意気込む千曲ボーイズナイン

9月に始動した1、2年生の新チームが県内で圧倒的な力を誇る創部8年目の千曲ボーイズが、初のジャイアンツカップ(G杯)出場を虎視眈々と狙っている。10月に行われた春季全国大会(来年3月26日開幕、報知新聞社主催)の長野県支部予選では松本、飯田を連破して2年連続の出場権をゲット。まずは来春の大舞台で暴れて、夏のG杯予選へとつなげるつもりだ。

大黒柱は身長172cmの左腕・梅野峻介(2年)。昨年秋からエースナンバー「1」を背負う梅野は「自分がチームを引っ張る」と自覚を見せ、打力にも磨きかけた。予選では1番に座り2試合合計6安打6打点と打線をけん引。投げては決勝の飯田戦に登板して5回2失点。「投げるほうは調子良くなかったけど、打席では納得のいくバッティングができた」と成長を実感した様子だ。

ほかの選手も負けてはいない。準決勝の松本戦で先発した右サイドスロー・奥野陸(2年)は9安打を浴びながらも集中力を切らさず2失点完投。「走者を出してから粘り強くなった」と原知久監督(43)を喜ばせた。捕手・西沢大空(1年)の安定したキャッチングとリードも光った。打線では2番・原和博(1年)がコンパクトなスイングでつなぎ役を果たし、4番・松田大成(1年)は決勝の3回、打者一巡の猛攻で2本の長打を放って存在感を示した。

それでも原監督は過去に春夏各1度出場した全国大会が、ともに初戦1点差負けだっただけに、「大きな試合でも練習通りのプレーができる精神力が必要」と課題を挙げる。小林慎之介主将(2年)は「冬の練習では走り込んで、来年夏まで戦える体力と精神力をつけたい」と飛躍を誓った。

## 新高校野球

1月号

～秋季大会特集 センバツ出場校を探る！ 11月30日発売～

報知新聞社出版部から「報知高校野球1月号」(定価870円=税込み)が11月30日発売されます。第89回センバツ大会(3月19日から12日間/阪神甲子園球場)の出場32校選考の重要資料となる秋季地区大会を大特集。巻頭は本誌が選定した各地区大会MVP。各大会はグラビアページからレポートページへと続き、明治神宮大会を加え、センバツ出場校を探りました。

地区大会ベンチ入り全選手リスト、秋季都道府県大会

全試合の結果も掲載。また来年9月にカナダで開催されるU18W杯で世界一を狙う高校ジャパンの本誌推薦選手第2弾も。

3年生はドラフト会議と秋季国体のページに登場します。「もう一度あの人に会いたい」では、夏の甲子園決勝でプレーした4人と再会できます。

【問い合わせ】報知新聞社出版部 ☎03(5479)1285